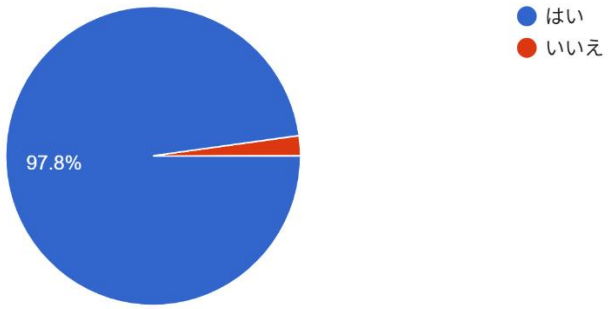
令和７年度　リビングウィルと ACP 研修会　アンケート集計結果

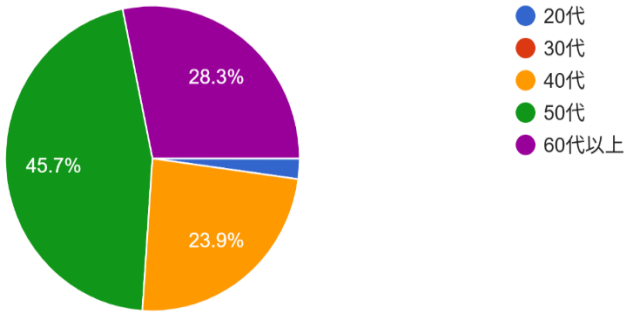
開催日 2025 年 8 月 9 日　　参加者：98 名　回答者：46 名　回答率：47%

山梨県看護連盟の研修会に参加したことはありますか？
46 件の回答



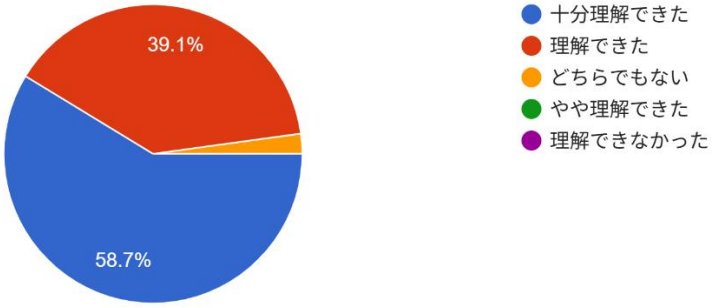
はい 45 人：97.8%　　いいえ 1 人：2.2%

年代
46 件の回答



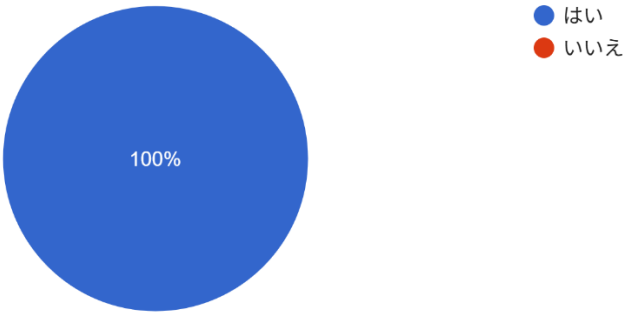
20 代 1 人：2.2%　　30 代 0 人：0%　　40 代 11 人：23.9%
50 代 21 人：45.7%　　60 代以上 13 人：28.3%

本日の研修の内容についての理解度を お聞かせください。
46 件の回答



十分理解できた 27 人：58.7%　　理解できた 18 人：39.1%　どちらでもない 1 人：2.2%

本日の研修を受けて職場に活かせる新たな視点を得る事ができましたか？
46 件の回答



はい 46 人：１００％

その他（意見・感想）

・ACP チームが立ち上がり、職場全体の周知からはじまっていますが、地域へもっと広がるように、市と協力して行ける取り組みにも繋げて行けたらと思いました。

・A CP が 本人と家族の意見が一致しない場合、どのように調節したらいいか。また考えてみたい。

・この内容を現場の看護職が理解できるようにしなくては患者には届かないと思いました。

・認知症の利用者さんに対する意志確認が出来ず家族の思いをどう聞き出すか、いつ聞くかをいつも悩んでいます。

・看護の場面での活用も考えましたが、両親の年齢が高くなり、最期をどう迎えるのかということを考えています。今後の参考にさせてもらいます。

・病院に来てからＡＣＰについて確認するのは難しい事が多い。国民性もあり死についての意思表示は苦手が多い、国や行政の周知は必須。

・とものうりお先生のお話が聞けて大変勉強になりました。

・改めて大切さを感じました。

・とても良い研修でした。現場に持ち帰って皆で活かしていきたいと思います。

・延命処置の定義がわかれば、患者さんにも説明しやすい。ACPI の概念がわかりました。在宅ではとても必要な項目でした。

・看護職が国政で大活躍している現状を理解し、応援していかなければと改めて思った。

・まだ、まだ、引き出しの多い、友納さんのお話を聞きたいです。ＤＸ化が進むにすれ、考えなくなる看護師が増えていく気がします。両立させながらしていくには、どうしたらよいのかなどのお話が聞けると嬉しいです。

・友納議員には、これからも看護の代表として頑張ってもらいたいと思います。

・入院してから ACP をすすめる事が多いです。在宅での ACP がすすんでいない印象です。自宅にいる時からの ACP がなかなか、すすんでいないのは現実。

・医療、看護の DX 推進などの研修が聞いてみたい。

・人生の最後を考えるには、入院してからでは遅いと日頃から思っています。県や市町村など行政が動いてくれると、救急や急病の時にも役に立つのかな…と感じました。友納先生のご活躍、期待しています！